

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1	自民・笑顔の会 代表質問 17番 今城 克久 (質問方式) 一問一答	1. 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを 2. 健康寿命の延伸を目指して 3. 誰でも生涯学べる教育のまち富田林に向けて 4. EXPO2025大阪・関西万博に向けて	(1) こどもまんなか社会の実現に向けて ①私学幼稚園に対する支援（施設および職員）について ②こども誰でも通園制度の開始に向けて ③本市の幼稚園保育所等の今後の考え方について（公私を含め幼児教育・保育の受け皿「特に3歳児から5歳児が過剰となる状況」への対応） (2) 高齢者介護施策の現状について ①認知症施策推進計画について ②新型コロナウイルス感染症に対する施設支援について (1) 特定健診の受診率向上に向けて ①本市の特定健診受診率について ②周知方法や受診体制の強化など、受診率向上に向けた取り組みについて (2) がん検診の受診率向上に向けて ①本市のがん検診受診率について ②周知方法や受診体制の強化など、受診率向上に向けた取り組みについて (1) 市民に開かれた生涯学べる教育を ①本市のリカレント教育について ②きらめき創造館活動（きらめき大学）について ③新たな富田林版の教育サイトの新設について (2) 現場の先生たちの声を活かした教育を ①小学校の水泳指導について ②中学校のクラブ活動について ③教員同士や教育委員会内部も含めたハラスメントやいじめについて（現状や対応） (1) 本市の観光拠点におけるインバウンドの案内対応について ①訪日外国人向けのガイドの状況について ②観光拠点等におけるフリーWi-Fiの設置状況について (2) 万博の観光ポータルサイトとの連携について ①本市の観光コンテンツの具体的な抽出について ②万博観光ポータルサイトの紹介セミナーを開催してはどうか ③観光コンテンツの機運を高める為にモデルコースをPRしてはどうか
2	大阪維新の会 代表質問 4番 寺内 裕介 (質問方式) 一問一答	1. 補助金の適正化・見直しについて。 2. 金剛自動車株式会社のバス事業廃止に伴う代替交通について。	(1) 補助金見直しガイドラインの策定について。 (2) 補助金点検シートを活用した数値による可視化について。 (3) 全ての補助金交付要綱への終期設定(サンセット方式の導入)について。 (4) 提案型協働事業制度および公共サービス民間提案制度について。 (1) 既存のレインボーバスにおける暫定措置について。 ①暫定措置の影響を受ける利用者について。 ②暫定措置における今後の見通しについて。 (2) 運転士不足について。 ①運転士の確保状況について。 ②運転士確保のための自治体の取り組みについて。 ※別府市、岡山市の事例等について言及する。 (3) 持続可能な地域公共交通のあり方について。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 定住・関係・交流人口の増加施策について。	<p>(1) 富田林市移住応援サイトについて。</p> <p>①移住者を獲得するためにどのような魅力を打ち出すべきか。</p> <p>②移住応援サイトの充実や移住・定住イベントへの出展等について。</p> <p>※これまでのポータルサイトの情報更新にも言及する。</p> <p>(2) ふるさと富田林応援団について。</p> <p>①ふるさと富田林応援団の現状について。</p> <p>②ふるさと富田林応援団を広めるための取り組みについて。</p> <p>※市内事業者の特典提供や公共施設等の割引きについても言及する。</p> <p>(3) ガストロノミーツーリズムについて。</p>
		4. 富田林市農業公園(サバーファーム)について。	<p>(1) サバーファームが抱えている課題について。</p> <p>①市と農事組合法人との間の協議内容のうち、令和6年4月以降の土地賃貸借について事実関係を確認するとともに、市の見解を求める。</p> <p>②土地使用協定が延長・更新等されない場合、法的には工作物の撤去等により土地の原状回復が必要となり、事実上、サバーファームを廃園せざるを得ない状況になると考えるが、市の見解を求める。</p> <p>(2) 農地等の使用権原について。</p> <p>①現状、農地部分は農地法第3条で制限されている農地の転貸借にあたる可能性があるため、今後、農地部分は市が直接地権者と、あるいは一般財団法人大阪府みどり公社(農地中間管理機構)を通じて農地賃貸借手続を行い、農地以外は市が地権者と宅地等賃貸借契約を結ぶことで、使用権原の取得を目指してはどうか。※農地法等の根拠法令も含め、市の見解を求める。</p> <p>(3) 地権者はもちろん、市民や地元町会等への周知・説明を早急に行うべきではないか。</p> <p>①農事組合法人との交渉経過等も含めて、現状や課題、今後の市の方針等を個別の地権者に知ってもらうよう説明会等を行うべきではないか。</p> <p>②地元町会等をはじめ市民への説明会等も積極的に実施し、市の考え方や目指している「富田林市農業公園の活性化に向けた新たな方向性」について理解を深めてもらい、協力してもらえるように努めるべきではないか。</p>
		5. 本市の市立小・中学校教育について。	<p>(1) 本市の令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について。</p> <p>①結果をどのように受け止め、原因をどのように分析し、改善に繋げていくつもりなのか。</p> <p>②民間の教育機関(学習支援事業者等)は比較的容易に成績を伸ばすことができるのに、公教育が同様のことをできないのはなぜか。課題はどこにあり、どのように改善していくのか。</p> <p>(2) 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)による教職員の働き方改革について。</p> <p>①デジタル化の推進、保護者とのやり取りにチャットツール等の活用、AIによる自動採点システムを導入することについて。</p> <p>(3) 本市の不登校児童生徒支援等について。</p> <p>①不登校児童生徒数が増加している要因について、本市教育委員会の見解を求める。</p> <p>②これまで校内適応教室で、学校復帰や高校進学等に繋がられた実績や、進学状況等を指標に加えて効果等を把握することについて。</p> <p>③校内適応指導教室をオンラインを併用してハイブリッド型に拡充することや、現に需要が増加傾向にあることも考慮し、人的体制の強化を検討してはどうか。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>6. 市立幼稚園・保育所のあり方について。</p>	<p>(1) 市立幼稚園の再配置について、6月議会後の検討状況を問う。</p> <p>①再配置の必要性を認識しておきながら、新たな再配置案や再配置に向けての動きが全く見えないのは何故か。いつ、何を、どのように検討し、何が決まったのか、何が決まらず課題となっているのか等も、具体的に示されたい。</p> <p>②再配置ありきで先行実施している「3歳児の受け入れ」「預かり時間の延長」「合同保育を行うため園から園へのバス送迎」「給食の実施」は、再配置の目処が立たない状況でも持続可能だと考えているのか。</p> <p>③いつになったら再配置に向けての具体的な取り組みに着手するのか。市が想定しているスケジュールを示されたい。</p> <p>(2) 再配置を検討するにあたって、客観的かつ明確な基準を定めてはどうか。</p> <p>①以前適用されていた、「2年連続1桁の園児数だった場合、翌年度から順次募集を停止する」というルールを復活させてはどうか。</p> <p>②最短で再配置の検討を進める手段として、令和6年5月1日現在の園児数と令和5年5月1日現在の3歳児の園児数を基準とする旨を決定し、公表してはどうか。</p> <p>③令和3年度から「3歳児」の募集を開始した経緯を踏まえ、過去に2年連続で3歳児の園児数が1桁だったことがある園に限っては、令和6年5月現在の園児数が1桁だった場合、翌年度から順次募集停止としてはどうか。</p> <p>(3) 市立幼稚園・保育所のあり方基本方針の再検討について。</p> <p>①「2年連続1桁の園児数で翌年度以降募集停止とするルール」の適用と並行して、個別施設再配置計画も含む「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」を再検討してはどうか。</p> <p>②再検討するにあたって必要があれば、改めて「市立幼稚園・保育所のあり方検討委員会」の設置も検討してはどうか。</p> <p>③市立幼保連携型認定こども園を設置することで、集約・再配置を進めてはどうか。</p> <p>④市立保育所について、現時点ですぐに民営化するのは現実的ではないので、まずは金剛保育園のように規模の縮小を進めてはどうか。</p>
3	<p>公明党 代表質問 7番 堀辺まゆみ</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	<p>1. 子どもたちの心に寄り添った学校教育を求めて</p>	<p>(1) 学校教育における子どもの心理的なサポートについて</p> <p>①本市の児童生徒のこころの状態はどのような方法、頻度で調査されているのか</p> <p>②調査結果はどのように活用されているのか</p> <p>③コロナ後でのストレスや不安に対処するために、どのような心のケアの方法を実践しているのか</p> <p>④ゲートキーパーの研修対象と実施状況はどうなっているのか</p> <p>⑤タブレット端末による自殺リスクを早期に予期できる精神不調アセスメントツールの導入を求めて</p> <p>(2) 子どもたちの将来の選択肢を増やすような「人と話す」英会話教育を求めて</p> <p>①本市の市立小中学校の英会話教育の現状について</p> <p>②GIGAスクール構想で整ったハード面の更なる活用をめざし、東京都東大和市で行なわれているような、タブレット端末を使った外国人講師による「マンツーマン会話レッスン」の導入を求めて</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		2. 食品ロス削減へのさらなる推進について	(1) 在庫食品や未利用食品の寄付の普及拡大について ①フードドライブの活動について ②コミュニティフリッジ(公共冷蔵庫)の設置支援について (2) 食品の廃棄を削減する食品流通サービスの展開と普及について ①フードシェアリングの地域への展開と普及について
		3. 市民や職員に喜ばれる新庁舎を目指して	(1) 市民の利便性や、職員の福利厚生のために、市役所内で食事の調達ができ、飲食可能なスペースを求めて ①近隣市(松原市や河内長野市)で行われているような、就労継続支援B型事業所などによる、障がい者雇用の食堂の導入はできないか? ②近隣飲食店などがお弁当などのテイクアウト商品を販売できるようにしてはどうか? ③オフィスに設置可能な、自販機型無人コンビニを導入してはどうか? ④週替わりなど、時間を決めてキッチンカーを敷地内に停留させ、調理したての物を食べる事ができる環境を作ってはどうか?
		4. 市民の安心と安全を守るまちづくり	(1) 富田林版防災ハンドブック(防災について市民の心得)の作成と配布を求めて ①災害時の基本的な心得と要配慮者の方に対して絵や「やさしい日本語」などで注意事項をまとめ、避難の心づもりなどが出来る独自の防災ハンドブックを作成してはどうか (2) AEDを使用する時に体を隠す配慮について ①河内長野市で導入されている「AEDが必要な方への周囲の目を遮る配慮」としてのシートなどを本市でも企画して導入してはどうか? (3) 歩行者専用道路について ①歩行者専用道路の市内の状況と課題について ②現在の安全対策と今後の周知と効果的な安全対策を求めて
		5. 子宮頸がん撲滅に向けた取組みについて	(1) HPVワクチンについて ①HPVワクチンの接種状況と周知方法について ②HPVが関係する男性の疾病はどのようなものがあるのか ③男性もHPVワクチンを接種することでどのようなことが期待できるのか ④男性のHPVワクチン接種費用助成について(東京都中野区の事例を参考に)
		6. 大阪・関西万博にむけて	(1) 本市の観光誘客の取組みについて
		7. 本市の障がい福祉を取り巻く課題について	(1) ガイドヘルプサービスの現状と人材育成について (2) 緊急時やレスパイトに利用できるサービスについて (3) 聴覚障がい者の就労促進に向けた取組みについて (4) 障がい者への相談支援体制について(ワンストップ窓口の実現を求めて) (5) 介護保険の対象とならない若年性認知症患者への支援について (6) 障がい理解の促進にむけた取組みについて

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		8. 多様な市民が交流できる、公園・スポーツ施設等の有効活用について	(1) 「都市公園新時代」を参考にした、本市が管理する公園の有効活用について (2) 市立スポーツ施設(学校教育施設を含む)の有効活用について ①専用スポーツ施設の利用状況について ②有効活用について
		9. 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	(1) 終活の支援について ①高齢者を取り巻く状況と本市の取組みについて ②他市の取組み(横須賀市、豊島区の事例)を参考に本市の見解を聞く (2) 認知症予防について ①認知症の現状(人数など)と認知症予防の取組みについて ②さらなる認知症予防の取組みにeスポーツを加えてはどうか (3) デジタルデバйд対策について ①現在のスマートフォン教室などの取組み状況について ②積極的なデジタルデバйд対策として、庁内にスマホ相談窓口を設置することを求めている (東大阪市や門真市など)
4	とんだばやし未来 代表質問 10番 尾崎 哲哉 (質問方式) 一問一答	1. 特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除対策について	(1) 被害状況について (2) 防除対策と予算について (3) 近隣市町村との連携について (4) 市民にご協力いただくための周知について
		2. 学校給食の拡充について	(1) 学校給食の無償化について、および今後のあり方について (2) 中学校給食の全員給食について
		3. 富田林市DX戦略について	(1) 本市DX戦略において示されているアクションプランに記載されている主な取り組み内容の進捗状況と、今後の見通しについて (2) 「行かなくてもいい市役所」の実現に向けての取り組みについて (3) 「誰一人取り残さないDX」に関して、現状の取り組み内容、および、スケジュールも含めた今後の具体的な方針等について
		4. 市民が快適に利用するための公共施設の運営について	(1) 公共施設内の設備更新について ①トイレの洋式化について(洋式化率、必要性、整備計画) ②エアコンの整備状況について ③バリアフリー化について (2) 台風接近時や大雨等による公共施設の休館や施設利用料のキャンセル料の取り扱いについて (3) 公共施設への公衆無線LANいわゆるフリーWi-Fiの設置について
		5. 富田林版「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みについて	(1) これまでの取り組み状況について (2) 今後の展開について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
5	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 第9期介護保険事業計画の策定について聞く。 2. 市設置型防犯カメラ及び町会設置の防犯カメラの有効かつ計画的な更新について 3. 地域公共交通について 4. 農業振興と農業基盤整備について聞く 5. 農業公園サバーファームの指定管理の現状と今後の有り方について	(1) 第8期介護保険事業計画の総括と、9期事業計画策定の進捗状況と重点施策、今後のスケジュールについて (2) 介護サービス等の基盤整備の現状と今後の方向性、認知症施策や健康づくり・フレイル予防推進への考えを聞く。 ※健康ポイント事業あることに言及のこと (1) それぞれの現状と課題の検証について (2) 警察等の連携による利用状況やそれを踏まえリース方式を活用した適切な機器の更新について (3) 町会設置の防犯カメラの保守点検にかかる費用補助制度の創設を求める。 ※泉大津市の事例の言及する (1) 金剛バスの廃止に伴うレインボーバスの運行計画について ①減便（平日3便）になることへの影響や軽減策、今後の運行の展望について聞く。 ※既存バス路線の利用促進と乗り継ぎ補助に言及する (2) 彼方上地区公共交通の実証運行について ①前回の実証運行の結果検証は ②課題や地域ニーズの把握、地域特性に見合った運行計画の検討を求める (1) 農道や農業用水路をはじめ、本市の農業関連施設等における整備状況とその補助率について ※東板持の可動堰整備について言及のこと (2) 農業都市・富田林を推進する上で、「富田林モデル」の確立を ※農業振興ビジョンや農業振興地域整備計画の見直しに言及すること (1) 現在の指定管理料の内訳と精算根拠について聞く ※土地使用にかかわる賃料をどう算定して来たのか言及 (2) 現在の農事組合法人との交渉の進捗状況について (3) 今後、土地が賃貸借できない場合に想定される状況と、新たに発生する市負担等について。 (4) 土地が借りれた場合にここに市場や加工施設、レストラン等の既存施設や従業員の雇用等の休園中の有り方や再開までの考え方について聞く
6	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. ドローンの活用について 2. 不登校児童生徒への支援について	(1) 災害時におけるドローンの活用状況 (2) 行政部局でのドローンの活用状況と本市でのドローン人材の育成、事業者育成について (3) 総合的な施策の展開について (1) フリースクールへ通う児童生徒への経済的支援について (2) フリースクールとの連携について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. ゴム可動井堰の改修における市の役割と地元負担金の軽減について	
		4. 市立幼稚園、保育所の今後の方向性について	(1) 令和6年度入園の園児について (2) 令和7年度以降の入園児について (3) 園児募集の方針について
7	13番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市において非正規職員の正規職員化を求めている	(1) 市全体の非正規職員を正規職員へ転換することについて (2) 専門性や継続性のある特に消費生活相談員や保育士の正規職員化について
		2. 国民健康保険の府内完全統一について	(1) 府内完全統一になれば、保険料や減免制度についてどのように変わるのか (2) 本市独自減免の低所得者減免におけるこれまでの申請状況と、府内完全統一によって受ける今後の被保険者の影響について (3) 府内完全統一により保険料負担増となる被保険者に対し、市としての考えを聞く (4) 本市国民健康保険事業財政調整基金の用途について
		3. 子どもを取り巻く学校の環境について	(1) 子どもたちと向き合う時間の確保に向けた小中学校の教職員の働き方改革について ①欠員が出ている学校の補充の状況を聞く ②小中学校の教職員の残業について聞く (2) 彼方小学校の教室について ①土砂災害区域横の東校舎の教室の現状について聞く ②移転するべきと考えるが、今後の見通しについて聞く (3) 小中学校への生理用品の設置について
8	9番 山本 剛史 (質問方式) 一問一答	1. ゴム井堰について	(1) ゴム井堰の地元負担率について (2) 大阪府との交渉経過と今後の方針

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
9	2番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 学校教育費の保護者の負担軽減について。 2. 小中一貫校について。	(1) 制服や学用品等のリユース促進について。 ①市立小・中学校でのリユース活動の実態調査について。 ②リユース促進について、市が積極的に関与してはどうか。 ※堺市等の事例にも言及する。 ③市内で制服を統一することに対する市の見解を求める。 ※福岡県太宰府市、愛知県犬山市の事例にも言及する。 (2) 彫刻刀・柔道着等の学用品購入について、学校側が用意し提供することを検討してはどうか。 ※神奈川県海老名市の事例にも言及する。 (1) 彩和学園について。 ①教員免許制度をはじめ、市立小中一貫校における指導体制の課題について。 ②校章、校旗、校則について。 ③スポーツや音楽についても、市立小中一貫校ならではの取り組みを検討してはどうか。 ※市立小中一貫校の魅力の発信についても言及する。 (2) 今後の市立小中一貫校の取り組みについて。 ①市立小・中学校の再配置を見据えての市立小中一貫校を検討する必要があると考えるが、市の見解を求める。 ※今後、市立小中一貫校をどのように増やしていくのか、具体的な取り組みを聞く。
10	3番 岩崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 地元農産物の学校給食への使用について	(1) J A大阪南管内で生産された南河内産のお米を学校給食で使用することについて進捗状況を聞く。 ※安価な調達可能性にも言及する。 (2) お米だけではなく、J A大阪南管内で栽培された野菜や果物も使用できないのか、市の考えを聞く。 (3) 富田林及び南河内産の野菜や果物を使用して富田林独自の学校給食メニューを作ることはできないのか、市の考えを聞く。 ※総社市の取り組みにも言及する。